

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度

令和4年度

1 基本情報

公の施設名	さがみ湖リフレッシュセンター
指定管理者名	株式会社 ギオン
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日
施設設置条例	相模原市立さがみ湖リフレッシュセンター条例
施設の設置目的	高齢者の健康の保持及び増進並びに介護知識及び介護方法の普及を図り、高齢者に趣味活動の場を提供し、並びに高齢者の機能訓練を行う拠点施設
施設概要	所在地 緑区若柳1207番地4 施設設置平成13年4月1日 敷地面積 2,055.14㎡ 建物延床面積 1,102.9㎡ 建物構造 鉄骨鉄筋コンクリート造(地上2階) 1階 会議室 2階 ふれあいルーム1, 2 研修室 調理実習室 憩いの間 図書コーナー 交流コーナー 事務室
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 津久井高齢・障害者相談課

2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度	5年度
利用者数合計(人)	24,160	26,617	26,741	3,033	12,510	20,620	
利用料金合計(円)	135,110	520,590	650,940	4,890	388,380	575,529	
(参考)利用料金中、次年度分	—	175,585	116,025	0	0	0	

※新たな指定期間の開始により、令和元年度利用料金合計には平成30年度中の預り金(175,585円)を含みます。

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
A	<p>成果指標1については、施設の利用制限をほぼ解除したことから、延利用部屋数の目標値は達成することができた。ただし、利用状況については、コロナ禍以前まで戻っていないため、引き続き、施設の周知PRを図るなど、利用率の向上に努めていただきたい。</p> <p>成果指標2については、各事業への参加者から高い満足度を得られており、参加者のニーズにあった事業が実施できたものと評価できる。今後とも参加者のニーズをとらえ、質の高い事業を実施し、施設及び地域の活性化に繋がる取組みを継続してほしい。</p>

指標1

指標名(単位)	施設の延利用部屋数(単位:回)
指標式と指標の説明	リフレッシュセンターを拠点とした活動の推進状況を、客観的に評価するため、1年間の施設の延利用部屋数を指標として設定する。(調理実習室は含まない)

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(回)	—	—	1,760	2,130	2,142	2,154	2,166
実績値(回)	1,841	2,167	2,229	1,506	1,781	2,317	
達成度(%)	—	—	126.6%	70.7%	83.2%	107.6%	0.0%

指標 2							
指標名 (単位)	事業への参加者の満足度(単位:%)						
指標式と指標の説明	指定管理者が実施した事業の内容を評価するため、事業への参加者の満足度を指標とする。						
項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	—	—	—	—	90%以上	90%以上	90%以上
実績値 (%)	—	—	—	—	92.8%	98.8%	
達成度 (%)	—	—	—	—	103.1%	109.8%	0.0%

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	<p>施設の利用制限をほぼ解除したものの、新型コロナウイルスの感染状況が完全に終息しない中で、企画提案事業及び自主事業について積極的に実施したが、参加者数が伸びていないのは主な対象者が高齢者であり、外出に慎重になっていると想定される。今後、参加者が定員の100%に近づくような工夫をしてほしい。</p> <p>自主事業においては、公開体験イベントやお菓子作り教室など新たな事業を実施し、幅広い年代の利用者の獲得に努めていることは評価できる。</p> <p>引き続き、地域と連携した事業の積極的な実施を期待する。</p>

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
なし			

企画提案事業

介護予防事業として、以下の事業を実施

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
スポーツウエルネス吹矢教室	4月～3月	専門性の高い種目のため、日本スポーツウエルネス吹矢協会へ講師の派遣を依頼して事業を実施した。 【実施日】 4/25(12人) 5/24(6人) 6/27(5人) (参加者) 9/26(3人) 10/24(5人) 11/28(5人) 12/26(5人) 1/23(5人) 2/27(5人) 3/27(5人) 合計 56人	○
簡単体力測定&体力向上運動	5、8月	脳年齢測定、血管年齢測定、骨の強さ測定を追加導入し、参加者の状態がより把握しやすい環境に整えた。 【実施日】 5/12(12人) 8/11(8人) 合計 20人	○
体力向上運動	11、2月	脳年齢測定、血管年齢測定、骨の強さ測定を追加導入し、参加者の状態がより把握しやすい環境に整えた。 【実施日】 11/24(8人) 2/9(16人) 合計 24人	○
スロートレーニング&ストレッチ教室	4、10月	【実施日】 4/14(9人) 10/13(10人) 合計 19人	○
健康測定会	5、8、11、2月	【実施日】 5/12(10人) 8/11(7人) 11/24(11人) 2/9(15人) 合計 43人	○
体幹トレーニング&タオル体操教室	6、1月	【実施日】 6/9(14人) 1/12(9人) 合計 23人	○
肩こり腰痛体操教室	7、12月	【実施日】 7/14(3人) 12/8(8人) 合計 11人	○
口コモ予防&ストレッチ教室	9、3月	【実施日】 9/15(12人) 3/9(7人) 合計 19人	○

自主事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
地域ふれあい卓球開放事業	4月～3月 原則第3土曜日	実施回数 10回 延べ参加者数 36人	◎
イキイキヨガ教室	7月～3月 原則第1.3水曜	実施回数 16回 延べ参加者数 70人	○
さがニコサークル	4月、12月	初めてのヨガ体操 4/19(6人) ミニ門松作り 12/22(13人) 合計 19人	○
お菓子作り講座	1月	実施日 1/21 参加者数 一部(13人)、二部(21人) 合計 34人	◎
公開体験イベント	12月	実施日 12/11 延べ参加者数 58人	○

5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	利用者へのアンケート調査による満足度は、99.3%と非常に高い評価を受けている。特に、毎年アンケートで「職員の対応が親切で丁寧である」という評価を受けており、職員接遇指導等が徹底されているものと評価できる。また、施設の維持管理についても、高い評価を受けていることから、利用しやすい施設となっていることが伺える。今後とも、引き続き利用者へのサービス向上に努めていただきたい。

利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査を実施 時期: 令和5年2月4日～3月31日 サンプル件数: 339名
目標値の基準	総合的な満足度の設問に対する「満足」と「やや満足」の合計の割合

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	85.0%	85.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
実績値 (%)	98.1%	97.5%	91.3%	100.0%	98.6%	99.3%	
達成度 (%)	115.4%	114.7%	101.4%	111.1%	109.5%	110.3%	0.0%

その他の取組

取組事項	時期	取組内容
ご意見箱	通年	施設受付にアンケートBOXを設置し、利用者からの意見要望等を随時受け付けている。受け付けた内容については、職員会議で共有を図り、対応に努めている。
事業アンケート	事業毎	参加のきっかけ、満足度、要望等

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
B	利用料金の収入額は、コロナ禍前の9割近くまで回復したが、電気料金の急激な高騰により、施設の収支状況を圧迫することとなった。市からの支援金や補助金を充当した上でも最終決算はマイナスとなり厳しい施設運営となった。また、団体の財務状況については、決算関係資料を確認した結果、「経営状況について特段の問題はない」とした。

施設の収支概要		※直近3年間について記載			(円)
項目		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
収入 (a)		15,576,793	16,217,584	16,234,868	
	指定管理料	14,732,196	14,867,607	14,871,110	
	利用料金収入	4,890	388,380	575,529	
	その他の収入	839,707	961,597	788,229	
支出 (b)		15,352,370	16,196,607	16,981,633	
	人件費	8,826,802	9,119,582	9,600,349	
	本社管理経費	180,000	180,000	180,000	
	その他の支出	6,345,568	6,897,025	7,201,284	
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)		224,423	20,977	-746,765	
自主事業収入 (d)		0	1,100	77,960	
自主事業支出 (e)		0	0	101,774	
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)		0	1,100	-23,814	
全体収支 【(c)+(f)】		224,423	22,077	-770,579	
備考	・利用料金収入は回復傾向にある。(R1:650,940円) ・その他収入の主な内訳は、市からの支援金420千円、補助金270千円が交付されたもの ・光熱水費(電気料金)の高騰が影響した。(R3:2,018,348円⇒R4:2,872,098円 約850千円の増)				

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和5年7月

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	抜き取りで調査をしたところ、概ね適正に管理されている。
危機管理	適正に実施	危機管理マニュアルや消防訓練等により、適切に実施されている。
人員配置・地元活用	適正に実施	利用状況により、人員配置を変更するなど、適切に実施されている。
現金管理	適正に実施	原則として、収納翌日には口座へ入金するなど、適切に実施されている。
会計・経理	適正に実施	抜き取りで調査をしたところ、概ね適正に管理されている。
情報セキュリティ	適正に実施	マニュアルの整備や研修の実施等、適切に実施されている。
情報公開・個人情報保護	適正に実施	情報公開マニュアルの整備等、適切に実施されている。
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	協定による規定等に基づき、適切に実施されている。
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	×
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	×
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	×
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	

9 指定管理者の自己評価

調理室という施設の特徴を生かしつつ、今まで施設に来たことのない方を対象にした「お菓子作り講座」はとても多くの方にお越しいただき、大反響となった。その他にも、公開体験イベント等、新型コロナウイルス対策を引き続き講じながらも、施設利用者を取り戻すための取り組みを行った。最終年度も引き続き施設の特徴を生かしながら、より良い施設となるように管理運営にあたる。

10 所管課意見

新型コロナウイルス感染症は終息の方向に向かいつつある中で、利用上の制限をほぼ解除し、通常管理運営となったところだが、当施設の主な利用対象者である高齢者の外出することへの意欲が高まっていないようで、施設利用者や企画提案事業等への参加者がコロナ禍前の状況に戻るためには時間を要しているものと推測される。

このような厳しい状況においても、企画提案事業をはじめ自主事業について、継続的、定期的実施し、施設利用者の増加及び施設の活性化に努めていただいた。また、施設の利用者や事業への参加者から高い満足度を得ている。このことは、これまでの指定管理期間を通して、施設利用者のニーズを的確に把握し、管理運営に取り組んでいることを意味している。

特に、自主事業の「地域ふれあい卓球開放」においては、事業への参加者がサークル化して活動をしている事例の報告もあり、継続して当施設で活動するするきっかけ作りとなるとともに、施設の活性化に寄与するものである。

利用者の満足度調査では、毎年、職員の接遇や施設の管理状況について高い評価を受けており、利用者にとって利用しやすい施設となるよう努めていただいている。

今後とも、魅力ある各種事業の実施や施設の適正管理に努めていただき、コロナ禍前以上の利用状況となるよう期待するものである。

11 選考委員会意見

新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、参加者が伸びない状況においても、介護予防・健康維持を目的とした企画提案事業を継続的、定期的に実施することで高齢者の外出の機会を創出したことは、大変評価できることである。

自主事業においては、はじめての試みで開催した「公開体験イベント」は、リフレッシュセンターで実施している事業へ体験参加できる内容として、年代を問わず、地域の方にリフレッシュセンターの周知を図り、新たな利用者獲得に取り組んでいただいた。また、親子を対象とした「お菓子作り講座」は、参加者から好評であったとのことで、自主事業をきっかけにリフレッシュセンターが世代間の交流の場としても、より一層活性化することを期待するものである。

光熱水費等の物価高騰の影響から厳しい経営状況が続いているが、様々な創意工夫により効率的な施設管理や各種事業の実施に努めていただきたい。

指定管理期間も残りわずかであるが、今後とも、施設が市民の生活になくてはならない存在でありつづけるため、市民が使いやすく関心を寄せることのできる施設運営を期待する。

総合評価（自動判定）

A

(75/100)

